

PRESS RELEASE

入場無料

福岡市文学館定例講座「もちはま草紙」第89回

「小説家の未来 —ハミングバードのいるところ」

令和4年2月開催の文学講座は、作家の相川英輔氏をお迎えします。相川氏は平成27年に福岡市文学賞を受賞後、作家としてデビューされました。今やその読者は国内のみに留まらず、国境を越え、世界へと広がりを見せています。本講座では、新しい文学のかたちが生まれつつある現在の文学状況について伺います。また、参加された方には、福岡市総合図書館にちなんだ書き下ろし(=未発表)の掌編小説(=短編小説よりも更に短い小説)をプレゼントします! 広くお知らせいただきますようお願いいたします。

1 開催日時 令和4年2月20日(日) 14:00~15:30(開場 13:30)

2 場所 福岡市総合図書館3階第1会議室(早良区百道浜3-7-1)

3 講師 あいかわえいすけ 相川英輔 氏(小説家)

[講師プロフィール]

1977年千葉県生まれ。西南学院大学大学院修了。2005年に『打棒日和』で九州芸術祭文学賞佳作受賞(大賞なし)、2013年『日曜日の翌日はいつも』で坊っちゃん文学賞佳作受賞、2015年福岡市文学賞(小説部門)受賞。主な著書に『雲を離れた月』(書肆侃侃房)、『ハイキング』、『ハミングバード』(惑星とロ笛ブックス)、『ハンナのいない10月は』(河出書房新社)など。国内にとどまらず、英訳され、海外でも作品が発表されている。福岡市在住。



相川英輔 氏

[講師からのメッセージ]

小説家になるには、公募文学賞を受賞してデビューするのが「王道」です。しかし、近年ではさまざまな「別の道」も開かれつつあります。これまで、私もいくつかの公募文学賞で名前を挙げていただきましたが、どれも佳作や最終候補どまりです。それでも、単著が刊行でき、さらには電子書籍で刊行した『ハミングバード』など複数の作品が英訳され、海外の賞にリストアップされるなど、国内外問わず多くの人に読まれるまでになりました。活字離れや書店の相次ぐ閉店など、小説家にとっては厳しい時代になってはいますが、一方で新たな未来も見えてきています。本講座では、私の一風変わった経歴を紹介しつつ、公募文学賞以外の可能性について言及します。小説家に限らず、叶えたい夢がある方の一助になる時間となることを心から願っています。

4 定員40名(要 事前申込み/抽選) 申込締め切り 2月10日(木)必着

応募事項[(1)氏名 (2)郵便番号 (3)住所 (4)電話番号]を漏れなく記載し、葉書、FAX、メールのいずれかの方法でお申し込みください。 1人1口。定員を超えた場合は抽選。当選者(受講決定者)のみ 通知します。



福岡市教育委員会

Fukuoka City Board of Education

福岡スタンダード~福岡の子どもたちに大切にしてほしいこと~

生活習慣の柱

あいさつ・掃除

学びの柱

自学・とも学

未来への柱

チャレンジ・立志

〈問い合わせ先〉

総合図書館文学・映像課 担当：高巢・本田

電話 092-852-0606(直通) FAX 092-852-0609

Mail bungakukan@city.fukuoka.lg.jp

小説家の未来

—ハミングバードのいるところ

2月開催の文学講座は、作家の相川英輔氏をお迎えします。相川氏は平成27年に福岡市文学賞を受賞後、作家としてデビュー。今やその読者は国内のみに留まらず、国境を越え、世界へと広がりを見せています。新しいかたちの文学が生まれつつある現在の文学状況について伺います。

日時 2022年2月20日(日)

14時～15時30分(開場13時30分)

会場 福岡市総合図書館3階第1会議室

814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1

講師 相川英輔氏(小説家)

入場
無料

定員 40名(要事前申し込み・抽選)

申し込み締切 2月10日(木曜日)



参加者には、福岡市総合図書館にちなんだ書き下ろしの掌編小説をプレゼントします



応募事項 (1)氏名 (2)郵便番号 (3)住所 (4)電話番号 をもれなく記載し、ハガキ、FAX、メールのいずれかの方法でお申し込みください。(1人1口) 定員を超えた場合は抽選となり、当選者(受講決定者)のみ連絡します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラムが変更となる場合があります。

※ご参加の際は、必ずマスクの着用をお願いします。

※申込時にいただいた個人情報は、コロナウイルス感染症対策のため保健所などから要請があった場合、情報を開示することがあります。

§お申し込み§

ハガキ 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
総合図書館文学・映像課 福岡市文学館担当

FAX 092-852-0609

Email bungakukan@city.fukuoka.lg.jp

あいかわ えいすけ
講師 相川英輔氏(小説家)

1977年千葉県生まれ。西南学院大学大学院修了。2005年に『打棒日和』で九州芸術祭文学賞佳作受賞(大賞なし)、2013年『日曜日の翌日はいつも』で坊っちゃん文学賞佳作受賞、2015年福岡市文学賞(小説部門)受賞。主な著書に『雲を離れた月』(書肆侃侃房)、『ハイキング』、『ハミングバード』(惑星と口笛ブックス)、『ハンナのいない10月は』(河出書房新社)など。国内にとどまらず、英訳され海外でも作品が発表されている。福岡市在住。

講師からのメッセージ

小説家になるには、公募文学賞を受賞してデビューするのが「王道」です。しかし、近年ではさまざまな「別の道」も開かれつつあります。これまで、私もいくつかの公募文学賞で名前を挙げていただきましたが、どれも佳作や最終候補どまりです。それでも、単著が刊行でき、さらには電子書籍で刊行した『ハミングバード』など複数の作品が英訳され、海外の賞にリストアップされるなど、国内外問わず多くの人に読まれるまでになりました。

活字離れや書店の相次ぐ閉店など、小説家にとっては厳しい時代になっていますが、一方で新たな未来も見えてきています。本講座では、私の一風変わった経歴を紹介しつつ、公募文学賞以外の可能性について言及します。小説家に限らず、叶えたい夢がある方の一助になる時間となることを心から願っています。



相川先生の主な著作